

# テラヘルツ帯電磁波を用いた超高速・大容量無線通信技術の研究開発への期待

## ◆講演概要◆

テラヘルツ帯電磁波を用いた超高速・大容量無線通信技術に関して、デバイス、システム技術や標準化の動向および NICT の描く日本の立ち位置などを述べる。また、同じくテラヘルツ帯電磁波を用いたカメラ技術、THz-TDS 技術等周辺技術の進展や応用例などについても触れる。

## ◆略歴◆

1993年 3月 東京大学大学院 理学系研究科相関理化学専攻博士課程 修了  
1993年 4月 日本鋼管株式会社  
1996年 4月 郵政省通信総合研究所 研究官  
1998年 1月 郵政省通信総合研究所 主任研究官  
2006年 4月 独立行政法人 情報通信研究機構 研究マネージャー  
2008年 9月 独立行政法人 情報通信研究機構 グループリーダー  
2011年 4月 独立行政法人 情報通信研究機構 未来 ICT 研究所 副研究所長、  
超高周波 ICT 研究室長（兼務）  
2012年 6月 独立行政法人 情報通信研究機構 未来 ICT 研究所 副研究所長、  
超高周波 ICT 研究室長（兼務）、テラヘルツ連携研究室室長（兼務）  
2013年 1月 独立行政法人 情報通信研究機構 未来 ICT 研究所 研究所長  
現在に至る。